

留萌保育所の園児によりカプセルは地下へ埋設

〔湊神社へタイムカプセルを埋設〕

100年後の留萌を夢み

永い歴史の中へ眠る

私達が営む市民生活の姿を集録し後世に残そうと十月二十五日、湊神社の境台でタイムカプセルの埋設式が行なわれました。

このタイムカプセルは、特殊合成樹脂で作られ、直径一・三メートルの球形に、国産たばこや市内の風景を撮影した8枚、市街住宅図、観光パンフレット、市立小・中学校の校舎写真など十九種類二百八十三点を入れ、深さ一・九メートルの地下に埋設しました。

式典では、「百年たったら目を

さまして、私達のことを伝えてください」と留萌保育所の園児によるおやすみの言葉などもあり、タイムカプセルは百年の永い眠りに入ったわけだ。

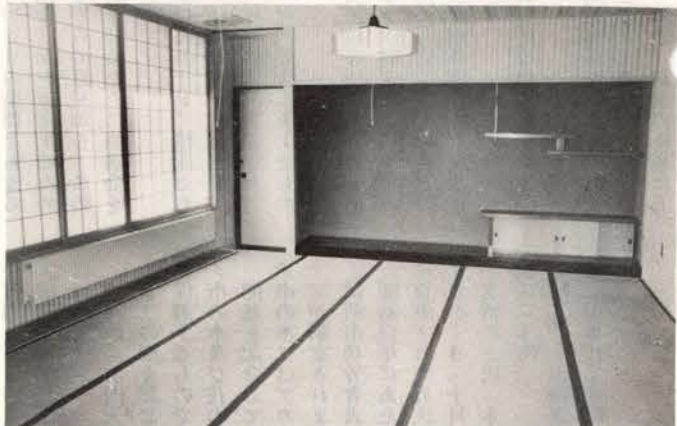
このカプセルは、百年後の二〇七七年に、私達の子孫の手によって開けられることになっています。また、今回のタイムカプセル埋設式で、ことしの開基百年記念事業は、すべて終了しました。



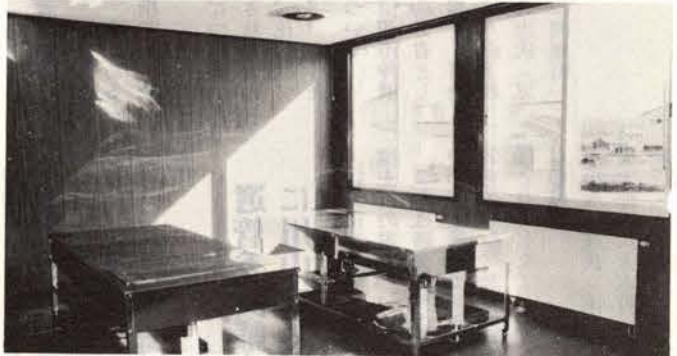
たばこなど 283点を集録



～ 100名を収容できる明るく広い講堂～



～老人の憩いの場となる老人研修室～



～料理講習会もできる実習室～



～サークル活動なども楽しめる婦人研修室～



南町近隣住民のコミュニティーセンターとして

東部地区公民館が完成しました

11月1日  
オープン

留萌市  
東部地区公民館

南町地区に地区公民館の建設を、と南町近隣住民から要望のあった「東部地区公民館」が去る十月二十二日完成、十一月一日からオープンしました。

総面積四〇五平方メートル（二階二七〇平方メートル、二階一三五平方メートル）、総工費約五千万円を要した地区公民館は、これから南町や五十嵐町など東部地区に住む九町内、二千人の方々に利用されることになっています。

施設としては、一階に実習室二四平方メートル、老人研修室三六平方メートル



～湯沸室も完備されています～



～明るい階段～

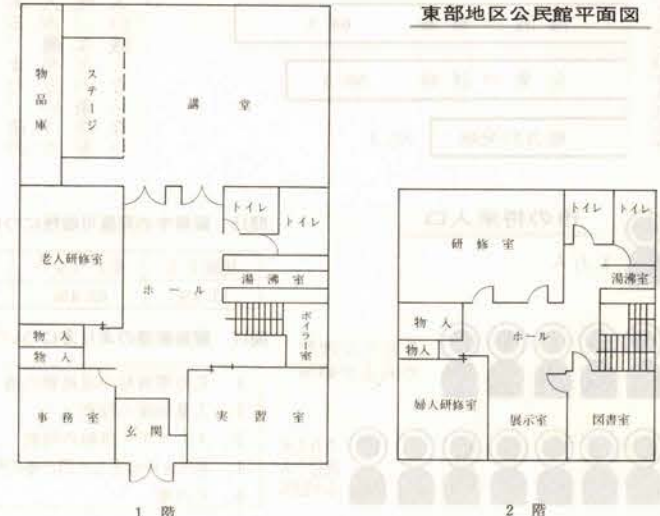
（十五畳）、講堂一〇八平方メートル、二階に、婦人研修室一七平方メートル（十畳）、研修室四七平方メートル、図書室十六平方メートルなどがあります。

また、講堂は百名程を収容できる広さとなっており、図書室には約二百冊の本が入ることになっています。

なお、東部地区公民館の開館時間は毎週火曜日から日曜日まで、午前九時から午後九時まで使用できます。

毎週月曜日は休館日ですので、お間違いのないようにしてください。

東部地区公民館平面図



東部地区公民館使用料

	(円)					
	午前	午後	夜間	午前～午後	午後～夜間	1日
講堂	1,000	1,400	1,800	2,000	2,800	3,800
実習室	400	500	600	800	900	1,200
老人研修室	500	700	900	1,100	1,400	1,800
研修室 A	400	500	600	800	900	1,200
研修室 B	300	400	500	600	700	900
婦人研修室	300	400	500	600	700	900